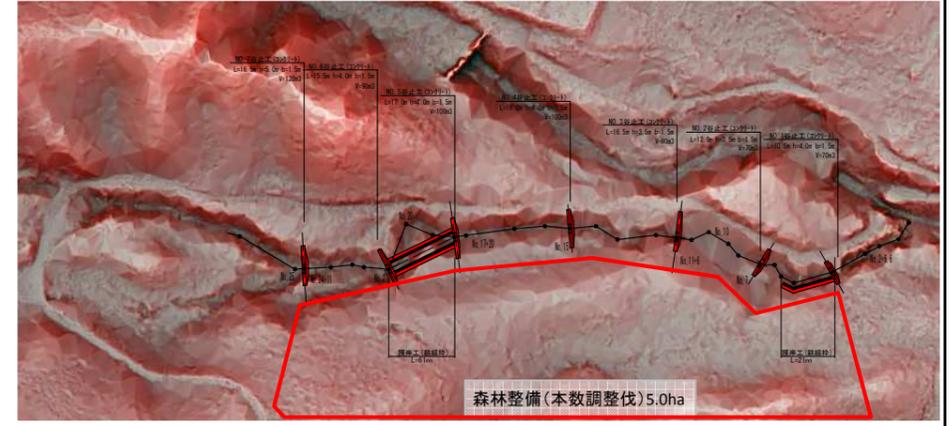
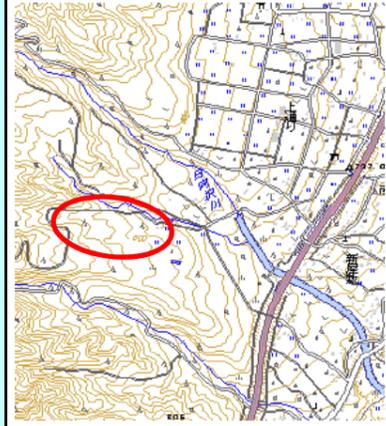


(様式2)新規評価シート

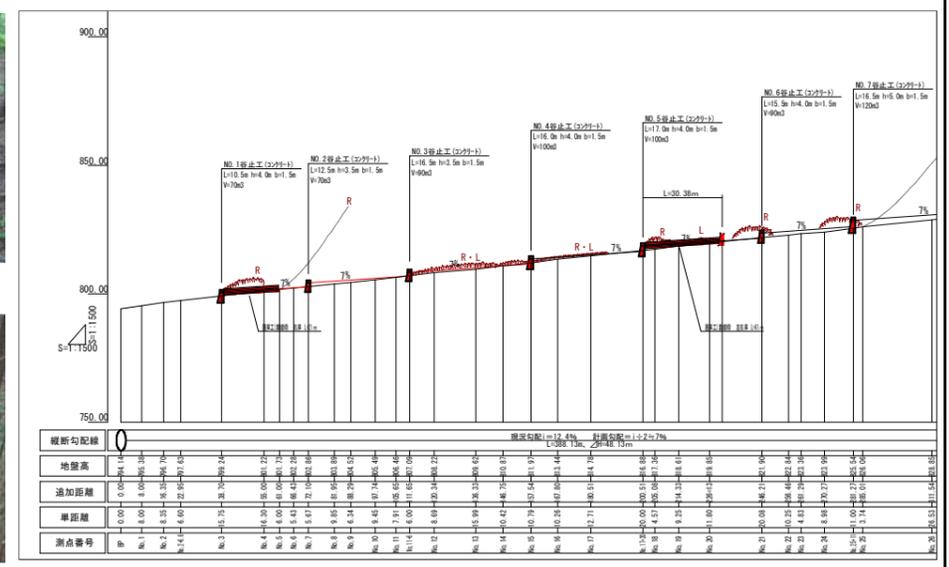
林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等		—		
事業毎の通番		5	市町村名	飯島町	箇所名(ふりがな)	竹の沢(たけのさわ)		
事業概要	事業目的	当該地は、過去の豪雨等により経年的に河床が低下し、渓岸浸食が進行しつつある。下流域には住宅や中央自動車道等の重要な保全対象も存在するため、今後の豪雨等による土砂流出や周辺のヒノキ林を巻き込んだ流木被害の発生を未然に防止するよう、施設整備と森林整備を一体的に実施する。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等	森林法			
	関連する事業、計画等	—						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家3戸、高速道路230m、町道300m、配水池1基						
	着手年度	平成28年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	1.41		国庫	その他	県債
全体事業内容(主な工種)	谷止工7個、護岸工82m 森林整備 5.0ha			65,000	32,500		29,250	3,250
年度事業内容(主な工種)	谷止工3個			25,000	12,500		11,250	1,250
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家3戸、人家3戸、高速道路230m、町道300m、配水施設1箇所の保全						
	間接的効果(定量的・定性的)	—						
評価の視点	必要性	【人家戸数】	3戸					評価
		【公共施設数】	3箇所 高速道路230m、町道300m、配水施設1箇所					
		【災害時要援護者関連施設数】	なし					
		【保安林・林業用施設】	保安林率 44%					
	重要性	【過去の災害履歴】	近年なし					評価
【交通遮断による地域経済への影響】		交通遮断の影響「中」						
【地域防災計画上の位置付け】		あり 飯島町地域防災計画						
効率性	【費用対効果】	B/C=1.41					評価	
	【早期効果発現】	3年間 (H28~30)						
	【工法等比較検討】	あり						
	【流域の総合調整】	調整中						
緊急性	【地形地質】	花崗岩					評価	
	【渓床勾配】	8°						
	【下流整備】	下流(本流)は、床固工、帯工及び三面張水路を整備済み。						
	【危険地区】	土砂災害警戒区域						
計画熟度	【情報共有】	平成28年2月10日に説明会を実施					評価	
	【地域要望】	飯島町及び地元関係者からの要望						
	【地域合意】	平成28年2月10日に説明会を実施						
	【住民参加】	地元区及び森林委員との現地調査を実施(2015.5.12)						
部意見	渓岸の浸食が進んでおり、対策を行う必要がある。	行政改革課意見	渓岸浸食が進み斜面が不安定な状況となっている。保全対象には人家、高速道路、町道があることから、緊急性が認められる。	評価結果	総合評価			
				○	B			

【位置図、平面図、構造図等】



【整備の必要性がわかる状況写真等】



①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	奥地保安林保全緊急対策事業(漁場)【飯島町 飯島】(H22~H26)により、計画箇所の上流側(=竹の沢支流の上流域)は整備完了。地元区等では、未整備区間となる本区間に対する対策を、引き続き要望している。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成27年5月12日に飯島町及び地元関係者から要望あり。	
③事業説明等の経緯	事業実施に先立ち、保安林制度及び保安林指定の必要性について説明済み。平成28年2月10日に、工事概要の説明会を実施。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	上下流の施工範囲や保安林と砂防指定地との重複指定に係る協議を県伊那建設事務所と実施済(平成27年12月18日)	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	現在河床低下と渓岸の浸食によって、多数の立木が倒伏している。今後も更に進行することにより、流木被害発生要因となりうるため、倒伏木及び沢沿いの危険木を除去し、周辺森林の安定性を向上させる。	
⑥地域活性化への影響と配慮	特になし	
⑦その他		
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 35度39分 東経:E137度53分